

コロナ対策に迫られ、昨年も本格的な導入は進めることができませんでしたが、各職場で少しずつ改善活動は進みました。

今年も各部門の「ムリ」「ムダ」「ムラ」を洗い出す作業から、コツコツと積み上げていきたいと考えております。

## 地域医療構想に 呼应した病病連携 病診連携の推進

地域医療構想調整会議が県主催で開催され飯伊地域の病院機能や病床数、病病連携（病院と病院の連携）が議論されています。病病連携、病診連携をすすめる住民の方々が

が利用  
しやすい  
病院



づくりを進めます。

## ウイズ・コロナに むけて地域活動 の充実

コロナ禍は住民の生活に大きな影響を与えてきました。ワクチン接種の推進や既感染者の割合が増える中で、感染対策だけでなく経済活動や人々の交流も行いながらの医療活動が求められてきています。

ウイズ・コロナの時代の医療活動、地域福祉活動の新しいケアのあり方を模索するとともに、人と人の架け橋となる文化活動に力を入れていきます。



糖尿病患者会「いきいき会」より

## 足の状態をチェック してみましよう

冬は、皮膚が乾燥するので足も乾燥しやすい季節です。乾燥すると、ひび割れしたり、皮膚が傷つきやすくなります。



また、雨や雪が降ると靴の中に湿気がたまり蒸れやすくなり、細菌が発生し、感染が引き起こされやすくなります。冬場は通気性の悪い靴を履く機会が増えるので注意が必要です。

セルフチェックは簡単にできますので、日々の足チェックをすることをお勧めします。



※チェックポイント※

- 足に傷はありませんか
  - 赤く張れているところはありませんか
  - 膿が出ているところはありますか
  - タコ・ウオノメ・イボはありませんか
  - 足の皮膚の色に変化はありませんか
  - 皮膚の乾燥はありませんか
  - 足や指の形に変化はありませんか
  - 爪の形や色に変化はありませんか
- 1つでもチェックがある方は、ぜひ病院の医師や看護師にも確認してもらいましょう。



保健師 佐々木真弓

